

生活造形プロジェクト2009

「子どものシアワセをカタチにする」 2009年8月10日プロジェクト始動

キックオフワークショップ開催のご案内

日時	2009年8月10日(月) 10:10～17:00
場所	京都テルサ 東館 3F 大会議室 (JR 京都駅八条口より南へ徒歩約10分)
参加者	全国の大学生・大学院生 60名 + 小学校高学年 10名 + 保護者 10名
プログラム	午前：講義「子どもの放課後生活実態」(大阪市立大学大学院 小伊藤亜希子准教授) 午後：親子10組 20名との調査・実験

社会が大きく揺れ、先の読めない不安が広がっており、生活者の心はなかなか晴れません。こんな時代の幸せとは何でしょうか？ 博報堂生活総合研究所では、これまで培ってきた洞察と発見の技法を一步進めて、研究活動だけに留まらず、**生活者の皆さんとともに次のシアワセを探り、具体的なサービスや仕組みというカタチを社会に提言する社会貢献活動「生活造形プロジェクト」**をスタートします。

2009年の活動テーマは「**子どものシアワセ**」です。

急激な少子化、情報革命、相次ぐ教育改革、学級崩壊やいじめ、凶悪犯罪・ネット犯罪の増加……

子どもをとりまく生活環境は激変しています。子どもが増やしたい時間の第1位は「睡眠時間」、第3位は「ぼんやりする時間」(2007年生活総研調べ)。

厳しい生活環境でゆとりのない子ども達の姿が目に見えます。

私どもは、子どもの生活の中でも、「**放課後**」に着目しました。

子どもの放課後には3つの「間」が欠けていると言われています。

塾・習い事に追われて自由な時間が足りない……

少子化などの影響で一緒に遊ぶ仲間が見つからない……

安全・安心に遊べる空間が存在しない……

次世代の日本を担う子ども達がいきいきと暮らし、毎日を楽しみ、豊かに成長できる、

そんな**子どもの放課後のシアワセのために、**

新しい都市、学校、公園、コンビニ、子ども部屋、食卓、メディア……

のカタチ(課題解決のための具体的な商品、サービス、社会の仕組み等)の提案、実現化を目指します。

本プロジェクトは、社会課題解決に強い意欲を持つ全国の様々な分野(医療、環境、教育、建築、工業デザイン、情報、心理、視覚デザイン、都市計画、ランドスケープなど)の大学生・大学院生約60名が参加し、今年8月より3回のワークショップを経て、11月には優秀10チームによる発表会、2010年3月には最終的な成果の展示発表会を開催いたします。

8月10日のキックオフワークショップでは、参加大学生が、子どもや保護者へのインタビュー、実験を通じて、子どもの放課後の生活の課題を抽出・共有するワークショップを実施する予定です。

ワークショップ当日の取材をご希望される報道関係者の方は、お手数ですが、別紙の申込用紙にてご連絡をお願いいたします。

キックオフワークショップ開催概要 (予定)

- 日時** 2009年8月10日(月) 10:10～17:00
場所 京都テルサ 大会議室(東館3階) <http://www.kyoto-terrsa.or.jp/>
〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70番地(JR京都駅八条口より南へ徒歩約10分)
tel:075-692-3400 fax:075-692-3402
* 大会議室まで直接お越しください。

開催次第

- 10:10** 開会挨拶、およびプロジェクト趣旨説明
10:20 参加学生自己紹介
11:00 講義「子どもの放課後実態」
大阪市立大学大学院生活科学研究科 小伊藤亜希子准教授
(プロフィール: <http://www.life.osaka-cu.ac.jp/cgi/pro.cgi?2211>)
12:45 生活発見セッション
参加学生が子どもチーム、保護者チームに分かれ、各部屋で子ども(小学校高学年)、および保護者へのインタビュー、実験を行います(詳細は別添資料を参照)。
15:30 発見内容の全体共有(学生からの発表)
16:40 感想と今後の抱負(学生からの発表)

参加者所属大学 (予定)

青山学院大学、大阪工業大学、大阪大学、岡山県立大学、金沢工業大学、岐阜大学、九州大学、京都市立芸術大学、京都大学、京都府立医科大学、慶應義塾大学、神戸芸術工科大学、摂南大学、千葉大学、東京藝術大学、東京工業大学、東京造形大学、東京大学、東京農工大学、同志社女子大学、名古屋大学、立命館大学、早稲田大学 (五十音順)

今後の予定

- 8月31日** 全参加チームからの子どもの生活の「課題とアイデア」提案
9月初旬 優秀10チームの選抜
10月2～4日 生活造形ワークショップ
2泊3日の集中合宿で、各チームの発見した課題と視点を磨き上げ、カタチを創り上げていきます。
11月8日 生活造形プレゼンテーション
学生からのプレゼンテーションの後、アイデアを磨きあげるために、専門家(研究者、デザイナー、NPO・教育関係者等)との議論を行います。
2010年春 生活造形展(仮称)
プロジェクトの最終成果を社会全般に提案するための展示会を開催いたします。

本件に関するお問い合わせ先

プロジェクトの内容について	博報堂生活総合研究所	箕(かけい)・高橋	TEL: 03-6441-6450
取材について	博報堂 広報室	西尾・大野	TEL: 03-6441-6161
	プランニング・ポート	福島	TEL: 06-4391-7156

① 放課後メンタルマップ

対象 子ども約 10 名（関西地区在住の小学校 4 — 6 年生）

概要 子どもの放課後生活空間地図の作成

学校から始まり、自宅までの（電車等で移動する塾・習い事等も含む）生活空間（街）の地図を自由に描いてもらいます。

アウトプットイメージ（生活総研が過去に実施した「子どもの遊び場メンタルマップ」調査の回答例）

公立小学校 5 年男子

- 駄菓子屋 1
- 公園 2
- 学校 1
- カラオケ 1



公立小学校 5 年男子

- 駄菓子屋 1
- 公園 2
- 友人の家 1
- 塾 1
- 古本屋 1
- ビデオ屋 1
- カラオケ 1



② ヴァーチャル放課後法

対象 子ども約 10 名（関西地区在住の小学校 4 — 6 年生）

概要 カードゲーム形式による放課後生活の再現と聞き取り

- ・ 30 種類の放課後カード（オリジナル制作）を子どもに渡し、カードゲームの要領で、月曜日から金曜日まで、午後 3 時から 8 時まで 25 の時間帯の過ごし方を再現してもらいます。
- ・ 再現した放課後の時間をベースに様々な質問を行い、子どもの放課後の課題をあぶりだします。
- ・ 最後に、教師や親の制約がない場合の「理想の放課後」の過ごし方を作ってもらいます。

	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00
月					
火					

③ 放課後デプスインタビュー

対象 保護者約 10 名

目的 保護者が考える子どもの放課後生活の課題把握と理想の探索

概要 以下の 3 つの項目に関する詳細な聞き取り調査

1. 自分の子どもが放課後に「どこで?」「誰と?」「何を?」して過ごしているのか?
2. 子どもの放課後生活で増やしたいコト（時間、場所、モノ、人）、減らしたいコトは何か?
3. 自分の子ども、社会全般の一般の子どもを問わず、放課後の生活の課題、問題点は?

返送先 FAX : 03-6441-6166

取材申込書

■ 8月10日(月) 10:10 ~ 17:00
「子どものシアワセをカタチにする」
キックオフワークショップ開催のご案内

出席する / 出席しない

(時 ~ 時頃取材予定)
※可能な範囲で取材予定時間をお知らせ下さい

御社名

ご所属

役職

ご芳名

同伴者

合計

名

ご連絡先

TEL

FAX

●お手数ですが、8月7日(金) 17:00 までに、下記までご返送の程、お願いいたします。

株式会社博報堂 広報室 担当：西尾・大野

FAX : 03-6441-6166 TEL : 03-6441-6161